



災害に備えよう！～愛犬編～



災害は突然起こります。

愛犬のために、日頃から対策をしておきましょう！



1. 自宅の減災対策

住み慣れた自宅で過ごせる在宅避難は、飼い主も犬も被災生活によるストレス軽減が期待できます。家具の転倒防止対策をするとともに、災害があっても犬が自宅から飛び出さないような対策が必要です。

2. 避難用品の備蓄

地域防災拠点には、フードやケージ等、ペット用品の備蓄はありません。

また、支援物資が届くまでは日数を要するため少なくとも5日分(できれば7日分)以上備蓄しておきましょう。

首輪とリードは、紛失や破損に備え予備を用意しましょう。

犬用知育玩具(中におやつを入れて、遊びながら食べられるおもちゃ等)があると犬のストレスが和らぎ、飼い主との分離不安や、鳴き声の軽減等に役立ちます。

3. 預け先の確保

あらかじめペットの一時預け先を確保しておきましょう。(親戚、知人、ペットホテル等)

4. 飼い主の明示

犬鑑札・狂犬病予防注射済票を着けることが義務付けられています。また、万が一、犬が逸走してしまった場合に備えて、**迷子札**を着け、**マイクロチップ**も装着しておきましょう。

5. しつけ

地域防災拠点でトラブルになりやすいのが犬の鳴き声です。

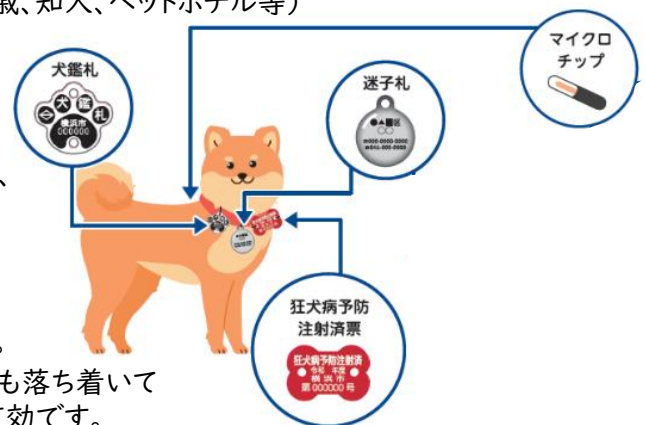
同行避難した場合に備えて、日ごろからケージに入っても落ち着いて過ごせるようトレーニングし、様々な音に慣らしておくことも有効です。

6. 健康管理

不妊去勢手術、狂犬病予防接種、混合ワクチン接種、ノミ・ダニ等の駆除を行っておきましょう。

7. 避難場所・避難経路の確認

発災時、安全かつスムーズにペット同行避難ができるよう、地域防災拠点のペット受け入れ体制の確認とペットを連れて避難できる経路を把握しておきましょう。



※年度により色は異なります。

災害時の対策について、
横浜市動物愛護センター
ホームページもご確認ください。

横浜市 ペット 災害

検索



発行元：横浜市動物愛護センター

〒221-0864 横浜市神奈川区菅田町75-4

TEL：045-471-2111 FAX：045-471-2133

令和8年8月改訂

